質問9

最後の質問です。

あなたにとって支援とはどう考えますか。

あなたにとって療育とはどう考えますか。

【回　答】

療育とは、障害をもつ子供達を社会的に自立することを目的として行われる医療と保育であり、私にとってそれは、希望の光のようなものでした。
自分の子供が障害を持っていると分かり絶望していた時に初めて耳にした「療育」というものが、最初は何なのか、それを受けたところでこの子が「普通」になれるのか？漠然としながらも必至に通って受けさせていました。もちろん障害は完治するわけもなかったけれど、それでも「療育」を受けることで少しでも程度が良くなればと信じることができた。他の「普通」の子供達と比べてしまうと、どうしても悲観的になってしまうけれど、本当に小さな変化や成長でも、「普通」に発達してきた子供達にとっては全然大したことでなくても、何とも言えない喜びを感じることができる。そんな気持ちになれたのは、「療育」を受けていたこと、その施設の方々のお陰だと言えます。障害をもつお子さんとその保護者の方にもそのような気持ちに少しでもなってもらえたらと、今度は受け身でなく、その「療育」を行う側の人間となりました。
そして、支援とは、その「療育」という手立てをもって、子供達の生き方、人生に関わってゆく重要なことだと思います。私にとっては、支援は免許免であり、とてもやりがいを感じられる仕事です。まだまだ始まったばかりですが、これから一生懸命免許免をして、スキルを身に付け、自分の子供もきっと自立させてみせる。そして子供達の生涯に関わっていき、自分がその子達にとって良い出会いとなれたら、これほど素敵なことはありません。